



大阪公立大学 女性研究者支援室 2025年度 事業報告書

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」

学長挨拶

2022年4月に大阪市立大学と大阪府立大学の統合によって大阪公立大学が発足してから、4年が経過しました。2025年9月に開設した森之宮新キャンパスを中核に、知を紡ぎ、未来を育む場所として、異分野を融合・包摂した新たな学問の創造と多様な世界市民の育成を目指しています。

大阪公立大学ダイバーシティ宣言では、3つの理念のうちの1つに「2. 多様性に配慮し、各人が能力を発揮することができるように助け合う」を掲げ、ジェンダー平等、ダイバーシティを推進し、インクルーシブな社会の実現に資する役割を果たすべく取り組んでいます。また、「大阪公立大学 vision 2030」では、アクションプランの中に「女性研究者が能力を発揮できるための教育研究環境の充実」を掲げ、女性研究者が能力を十分に発揮できるよう、教育研究環境整備やキャリアアップ支援を行い、女性教員の割合を増やし、それによる社会イノベーションの創出を図れるような多様な研究者組織の構築の実現に向け取り組んでいます。

2023年度に選定された令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」では、女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」し、「景色を変える」ことをコンセプトに掲げています。これを実現するため、積極的に女性研究者の教授職や執行部などの上位職登用を推進しており、2025年10月には女性研究者の活躍を推進している機関として、「第7回輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）」を受賞しました。本学の優れた人材が、常に新しいことに挑戦する高い志を抱き、進取の気風のもとで、性別や人種・国籍などを問わず活躍できるよう、大学全体で人材育成に取り組んで参ります。今後とも、ご支援・ご協力賜りますよう、お願いいたします。



大阪公立大学 学長
櫻木 弘之

女性研究者支援室長挨拶

大阪公立大学女性研究者支援室では、本学の研究者が性別にかかわらず能力と個性を発揮して生き活きと活躍できるよう、女性研究者支援とダイバーシティ推進の取組を行っています。

研究者のライフイベントやワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境整備はもとより、意識改革や研究力向上支援のためのセミナーの開催、女性研究者の積極採用ならびに上位職への積極登用の促進などを、学内外のさまざまな部署・部局と連携して進めています。

大阪公立大学は2023年9月に令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に選定されました。本学がこの事業において掲げたコンセプトは「研究者が来たい・辞めない・活躍できる大学」、そして女性研究者の「見える化・魅せる化」により「景色を変える」です。学内の連携をいっそう強化し、コンセプトの実現をめざしてまいります。

今後とも皆様ますますのご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大阪公立大学 副学長・
女性研究者支援室長
工学研究科／工学部 教授
森澤 和子

目次

● 学長挨拶	1
● 女性研究者支援室長挨拶	1
● 事業概要	3
● 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」	3
● 外部評価委員会	4
● JST第7回「輝く女性研究者活躍推進賞(ジュン アシダ賞)」を受賞	5
ジュン アシダ賞受賞記念シンポジウム	5
● 事業報告	6
I 女性研究者採用・上位職登用促進	6
OMU 女性教員昇任制度	
ダイバーシティ研究環境整備費制度	
II 研究力向上・リーダー育成	7
RESPECT共同研究助成	
プロモーションメンタープログラム	
スキルアップ支援セミナー	
個別支援 申請書レビュー	
科研費申請支援(女性研究者支援室専任 URA)	
【新】女性研究者支援室専任 URA によるワークショップ	
女性研究者外国語論文校閲費助成事業	
III 研究者育成	10
女性研究者表彰制度【岡村賞】	
理系女子大学院生チーム IRIS	
IV 環境整備	11
研究支援員制度	
女性講演者登壇助成	
学内保育施設	
ベビーシッター割引券発行事業	
「会議は17時まで」キャンペーン	
研究者交流会	
日経STEAM2025 シンポジウム	
キャリアデザインセミナー	
広報活動	
ご寄附のご案内	
● 年間事業実績一覧	13
● 委員一覧	14

事業概要

大阪公立大学女性研究者では、性別にかかわらず研究者が能力と個性を発揮して、安心できる大学を目指し、次の4つを柱として事業に取り組んでいます。

I. 女性研究者採用・上位職登用促進

女性研究者を増やし、大学執行部や教授等の上位職として活躍できるよう、全学で連携して取り組んでいます。

II. 研究力向上・リーダー育成

女性研究者が研究チームのリーダーとして活躍できるよう支援しています。

III. 研究者育成

女性研究者・技術者を育成するとともに、その活動を支援しています。

IV. 環境整備

大学の推進体制を整えるとともに、研究者がライフイベント（妊娠・出産・育児・介護）を抱えても、男女問わず活躍できるよう支援しています。



令和5年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)

事業期間 2023~2028年度(6年間)

目標 次期の一般事業主行動計画(女性活躍推進)に、目標達成のための行動計画を位置づける。

<数値目標> **専任教員のみ**

- 2023年度以後
 - 新規採用における女性比率30%以上
- 2028年度
 - 女性教員比率25%
 - 准教授における女性比率25%
 - 執行部(副学長等)における女性比率25%

取組概要 大阪市立大学と大阪府立大学で培ってきた全学の支援体制と実績を活かし、女性研究者の活躍支援を加速して推進する。

女性研究者支援室の
あゆみはこちら



サステナブルな人材育成・活用

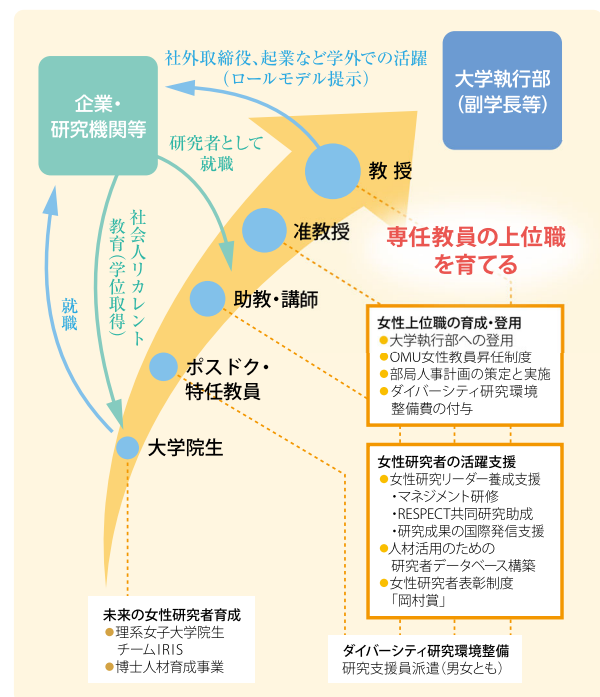
大学院生から執行部まで各段階に合わせた人材育成・活用策により、「研究者が来たい・辞めない・活躍できる大学」になるべく環境整備を強化する。

- OMU女性教員昇任制度(ポストアップ制度)の実施、部局人事計画の策定、ダイバーシティ研究環境整備費の付与
- OMU基金を活用し、研究支援の資金基盤を強化
- 女性研究リーダー養成支援: RESPECT 共同研究助成、マネジメント研修、研究成果の国際発信支援

景色を変える

上位職(教授、副学長等)および、メディアやシンポジウムに登場する女性比率を上げ、女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」する。

- 人材活用のための研究者データベースの構築と活用
- 未来の女性研究者育成: 社会人リカレント教育(学位取得支援)、理系女子大学院生チームIRISや博士人材育成事業との連携



外部評価委員会

事業2年目となる2024年度の取り組みについて、事業の実施状況や活動実績を分析し、客観的な視点から評価を得ることで、今後のさらなる推進につなげることを目的として、外部評価委員会を開催しました。

●実施日程

- 2025年7月3日 外部評価委員会開催
- 2025年7月22日 外部評価委員による評価回答の提出
- 2025年9月22日 総合評価の決定

●外部評価委員

氏名	所属・職位
石井 実	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所・理事長
鹿野 徳子	大阪府府民文化部男女参画・府民協働課 課長
藤野 敦子	京都産業大学現代社会学部・教授
横山 桂子	NTT西日本(株)・常勤監査役

●評価方法

各項目について4段階評価と記述による回答を依頼

S	計画を上回って実施できている。
A	計画どおり実施できている。
B	計画どおり実施できていないが、一部順調な取り組みもみられる。
C	計画どおり実施できていない。

評価結果

項目		委員会としての評価	コメント
I. 目標達成度	女性研究者の在職比率、上位職比率、採用比率	B	<ul style="list-style-type: none"> ●女性研究者の採用比率は目標を大幅に上回っており、高く評価できる。 ●女性准教授の教授昇任により教授比率は目標を超えているが、准教授比率がわずかに未達である点は課題であり、女性講師・助教の計画的な昇任にも配慮が必要である。 ●全体として、在職比率や教授比率、採用比率は目標を達成しており計画は順調に進展している。本事業後半は、さらに積極的な取り組みで目標超えの成果を期待する。
II. 実施体制	実施体制の構築	A	<ul style="list-style-type: none"> ●委員会や会議が適切に設置・開催され、専任スタッフが確保されている点を高く評価する。 ●複数あった女性研究者支援センターを一箇所に集約し、5つのキャンパス間で密な連絡を取りながら事業を進めていることが評価される。 ●学長交代後も現学長が強いリーダーシップで事業を引き継ぎ、ダイバーシティ戦略会議など計画通りに取り組みが展開されている点を評価する。
III. 取組内容と成果	女性研究者の上位職育成・積極登用	A	<ul style="list-style-type: none"> ●「OMU女性教員昇任制度」の活用により、多くの女性教授・准教授の就任が進み、上位職における女性比率向上の取り組みが加速している点を高く評価する。 ●女性教授がいない部局への配慮が必要であり、優先的に解消に取り組むことが期待される。 ●女性限定公募の推進などにより、理工系の女性研究者比率や採用比率、上位職登用のさらなる向上も期待される。
	女性研究者の活躍支援	S	<ul style="list-style-type: none"> ●2つの新規事業を含む多様な支援事業を計画通り実施し、オンライン開催による複数キャンパスの参加・利用者の利便性への配慮も高く評価する。 ●女性研究者の研究力向上に向けた取組が計画を上回っており、特に理工系女子大学院生による「IRIS」の活動が裾野拡大の意義ある取組と評価する。 ●「IRIS」の活動は貴大学を超えた社会全体の女性活躍に資するものであり、今後も工夫を凝らした取組を期待する。 ●昨年に引き続き多様な研究支援メニューを展開できている点を評価し、今後は活動の質的充実にも期待する。
	ダイバーシティ研究環境整備	S	<ul style="list-style-type: none"> ●「ダイバーシティ研究環境整備費制度」により、各部局の取り組みが可視化・共有され、切磋琢磨の好循環が生まれている点を高く評価する。 ●同制度の改善が図られ、掛け声だけで終わらない実質的な取り組みの基盤が整いつつあることを特に評価したい。 ●この制度が優秀な教員の確保など、全学の重要課題への貢献につながることに大いに期待する。
	情報発信・意識啓発	S	<ul style="list-style-type: none"> ●女性講演者登壇助成制度の創設やロールモデル集の作成、教職員ニーズ調査、コーディネーター交流会の実施など多様な新規事業を推進したことを高く評価する。 ●学内のニーズ調査により取組の効果や方向性が確認され、課題も明確化されている点が評価でき、今後は調査結果を活かした事務のDX化など課題解決の取り組みが期待される。 ●ロールモデル集や研究者交流会、コーディネーター交流会に加え、多様な情報発信が充実しており、他大学等からの注目も高いことを評価する。 ●大阪府との共催セミナーは、企業の男女参画や女性リーダーの在り方を学生に考えさせる貴重な機会であり、今後も工夫を凝らした取り組みの継続を期待する。
総合評価		A	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの新規事業があり、半数の項目で計画を上回るなど、全体として適切かつ積極的に事業を推進している。文化の異なる2つの大学が統合した大規模マルチキャンパス大学であるにもかかわらず、統制のとれた事業展開が高く評価される。 ●中間評価時点での目的は順調に達成されていると考えられる。 ●多様な取り組みを重層的に展開したことで女性教員比率が上昇し、他大学等からの関心も高まっており、成果が着実に形になりつつある。今後は各取り組みのレベルアップによりさらなる成果が期待される。 ●取組は概ね計画通り進んでいるが、昇任候補者数の制約などアウトプット・アウトカム外の要因によりIの目標達成ができなかったと思われる。候補者育成・獲得に向けた中長期的な取組が行われているため、今後の改善に期待しA評価とする。

JST 第7回「輝く女性研究者活躍推進賞(ジュニアシダ賞)」を受賞

女性研究者の活躍推進に関する先進的な取り組みが評価され、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）第7回「輝く女性研究者活躍推進賞（ジュニアシダ賞）」を受賞しました。2025年10月26日（日）、日本科学未来館（東京都江東区）の未来館ホールにて表彰式が行われ、櫻木 弘之学長が大阪公立大学を代表して表彰を受けました。

今回の受賞は、大阪公立大学独自の「OMU 女性教員昇任制度」と「理系女子大学院生チーム IRIS」の取り組みが高く評価されたものです。「OMU 女性教員昇任制度」は、学長と人事委員会によるリーダーシップの下、各部局で昇任条件を満たした女性教員が、ポストに余裕がない場合でも昇任可能にするもので、この制度により、わずか2年間で女性教授13名、准教授6名が昇任しました。また、次世代の女性研究者育成として、「理系女子大学院生チーム IRIS」の活動を支援し、地域との連携を通じたアウトリーチ活動を展開しています。この活動は大阪公立大学から15年以上にわたり継続していて、全国的にも高い評価を受け、次世代の女性研究者育成のモデルケースとなっています。大阪公立大学はこれからも、女性研究者が活躍できる環境整備や支援を推し進め、性別に関わらず研究者が能力や個性を発揮し、活躍できる大学を目指していきます。



ジュニアシダ賞受賞記念シンポジウム

受賞を記念して開催された本シンポジウムでは、大阪公立大学がこれまで進めてきた女性研究者支援事業の取り組みを紹介するとともに、第一線で活躍する女性研究者による研究発表や、理系女子大学院生チーム「IRIS」による活動報告が行われました。

多様な視点からの発表により、女性研究者の活躍と今後の可能性について理解を深める良い機会となりました。

シンポジウム終了後にはコーヒープレイクを設け、名刺交換や質疑応答などを通じて、和やかな雰囲気の中で活発な交流が行われました。



事業報告

I 女性研究者採用・上位職登用促進

OMU 女性教員昇任制度

大阪公立大学では、人事委員会の主導のもと、女性研究者のキャリア形成を体系的に支援するため「OMU 女性教員昇任制度」を実施しています。

本制度では、女性教員が上位職に昇任する際、部局の上位職ポストに余裕がない場合でも、学長裁量による支援枠を活用することで、一定期間、上位職への前倒し昇任を可能とする仕組みを設け、優秀な女性研究者の登用・定着を部局横断的に後押ししています。

OMU 女性教員昇任制度 部局別実績

研究科・機構	2025 年度 (12月時点)
文 学	1
経 済 学	1
工 学	2
農 学	1
獣 医 学	1
生 活 科 学	1
計	7

研究科・機構	2024 年度
現代システム科学	2
文 学	2
法 学	1
都 市 経 営 学	2
理 学	3
獣 医 学	1
リハビリテーション学	1
生 活 科 学	1
計	13

ダイバーシティ研究環境整備費制度

本制度は、部局が独自に実施した、女性研究者や若手研究者が研究を継続し活躍するために支援した取組みのうち、大阪公立大学の研究環境整備に貢献し、他部局のモデルとなる取組みを行った部局を表彰するものです。

採択部局には、今後も部局における支援体制を整えられるよう、ダイバーシティ研究環境整備費 として1部局あたり100万円を付与しています。今年度は、5部局が採択されました。

採択部局

国際基幹教育研究院
文学研究院
工学研究院
リハビリテーション学研究院
生活科学研究院

取組事例 (Good Practice)

- 働き続けるための取組み
 - ・ダイバーシティ推進コーディネーターの雇用 (文学研究院)
 - ・託児環境整備 (リハビリテーション学研究院)
 - ・教員居室の分散等によるコミュニケーション困難を克服するための各種情報共有 (国際基幹教育研究院)
- 研究し続けるための取組み
 - ・若手教員への支援・育成 (工学研究院)
 - ・国際共同研究を実施した教員への支援 (工学研究院)
 - ・若手研究者へのヒアリングや情報提供 (リハビリテーション学研究院)
 - ・生活科学研究科若手重点研究費 (生活科学研究院)

Ⅱ 研究力向上・リーダー育成

RESPECT共同研究助成

大阪公立大学の女性研究者が研究チームのリーダーとなる活躍促進を目指し、女性教員（准教授以下）に競争的インセンティブとして共同研究費（1件あたり上限200万）を支援しています。書類審査とプレゼンテーション審査を経て2025年度は6名の採択者が決定しました。また、2024年度に採択された5名の女性研究者による成果報告会を実施し、研究成果と今後の展望について報告しました。

対象	性別	職位等	条件
	女性のみ	<ul style="list-style-type: none"> ● 准教授 ● 講師 ● 助教 ※任期付含む 	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同研究者1名以上を含むチームの研究代表者であること ● 2024年度にスキルアップ支援セミナーに1回以上参加していること ● 新たに編成したチームで応募者自身がリーダーシップを発揮し、意欲的に取り組む創発的・挑戦的な研究課題があり、今後の長期的な発展・ステップアップへの意気込みがあること ● 2022年度以降のRESPECTに採択されていないこと

＜審査のポイント＞

1. 研究チームの構成と研究遂行能力
2. 研究代表者のリーダーシップの発揮の仕方
3. 異分野の研究者にも分かる研究の重要性（学術的な意義と社会的な意義を含む）
4. 研究の将来性（多様な発展が見込める課題か）

審査結果 申請件数：18件、採択件数：6件

採 択 者	
安木 真世	（獣医学研究科 准教授）
牧浦 理恵	（工学研究科 准教授）
上村 麻衣子	（医学研究科 講師）
寺田 佐恵子	（農学研究科 准教授）
朝田 良子	（工学研究科 助教）
田中 弘美	（生活科学研究科 准教授）

※職位は採択当時

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」

3月23日(月)
13:30 ~ 14:25
杉本キャンパス
学術情報総合センター
1階 文化交流室

対象：教職員・学生・研究者
申込不要

**RESPECT共同研究助成
成果報告会**

大阪公立大学の女性研究者が研究チームのリーダーとなる活躍促進を目指し、女性教員（准教授以下）に競争的インセンティブとして共同研究費（1件あたり上限200万）を支援しています。2024年度に採択された5名の女性研究者が、研究成果と今後の展望を報告します。

【プログラム】

◇開会挨拶 13:30 ~ 13:35
森澤 和子 女性研究者支援室長（審査委員長）

◇採択者による成果発表 13:35 ~ 14:25

桑原 希世子（国際基幹教育機構 准教授）
遠洋深海の堆積物から探る石炭紀～ペルム紀の微化石遷移と環境変動

Jean Lin（文学研究科 准教授）
AI作品をめぐる美と芸術の評価に関する研究

三枝 栄子（理学研究科 講師）
Hard-Soft mix型配位子を活用したランタノイド錯体の合成と機能探索

及川 典子（工学研究科 准教授）
イオン液体の溶解過程における界面種らぎの測定

高井 飛鳥（工学研究科 助教）
人同士の協調能力に着目した身体支援ロボットの制御戦略の立案と検証

報告会終了後、同会場にて引き続き研究者交流会を開催します！
こちらまでぜひご参加ください！

問い合わせ先 女性研究費支援室
TEL: 072-254-9856(内線: 中野直島 5071)

※詳細はHPをご覧ください。
大阪公立大学 女性研究費支援室

プロモーションメンタープログラム

女性研究者の上位職昇進（プロモーション）を促進することを目的として、女性研究者（メンティ）の抱える様々な課題や不安（研究グループ・部局のマネジメント方法や部下等との人間関係、管理職リーダーのキャリア形成、仕事と生活の調和など）について、上位職の研究者（メンター）が助言を行うプロモーションメンタープログラムを行っています。

対 象

2024年度、2025年度 RESPECT共同
研究助成採択者 10名

実施期間

採択年と翌年の2年間

スキルアップ支援セミナー

研究力向上のため、さまざまなスキルアップ支援セミナーを企画開催しました。スキルアップセミナーへの参加は RESPECT 共同研究助成の応募条件の 1 つです。

■外部資金獲得セミナー

科研費の研究計画調書の作成前に科研費申請の最新動向を把握し、採択をつかむためのポイントを解説する講演会を実施しました。(参加人数：100名)

外部資金獲得セミナー

日時: 2025年7月4日(金) 13:30~15:30 (講演90分, 質疑応答30分)

方法: オンライン開催

対象: 大阪公立大学の教職員・研究員 (性別問わず)

講師: 中安 肇 氏 (大阪大学 工学部 教授)

内容: 「科研費申請の最新動向 採択をつかむためのポイント解説!」

参加無料

申込締切: 6月27日(金) 17時

お申込みURL: <https://forms.office.com/r/6FzF6t6tPz8>

MAIL: gr-hobby-support@oma.ac.jp
TEL: 072-247-6689
内線: 中教直線5971 / 中教 3000-17-000

■英語スキルアップセミナー

ネイティブはどのようにして学術論文執筆を学ぶのか?を参考に、今すぐ改善できるポイントと長期的に取り組むべき課題や、生成 AI が論文投稿や学会発表に与える影響について考察するセミナーを実施しました。(参加人数：90名)

英語スキルアップセミナー

日時: 2025年11月14日(金) 13:30~16:00
※13:30~15:30 講演 ワーク形式ではありません
15:30~16:00 質疑応答(自由参加)

方法: Zoomによるオンライン開催

対象: 大阪公立大学の教職員・研究員 (性別問わず)

使用言語: 日本語

講師: 神島 智子 氏 (University of Vermont, University of Liverpool, 東京大学 特任講師)

内容: 「ネイティブはどのようにして学術論文執筆を学ぶのか?」を参考に、今すぐ改善できるポイントと長期的に取り組むべき課題を解説!

参加無料

申込締切: 11月12日(水) 17時

お申込みURL: <https://forms.office.com/r/64E1s9H03>

MAIL: gr-hobby-support@oma.ac.jp
TEL: 072-247-6689
内線: 中教直線5971 / 中教 3000-17-000

■プレゼンテーション方向上セミナー

情報を「見える化」する方法、伝えるデザインの基礎知識、パワーポイントの効果的な活用テクニックを解説するセミナーを実施しました。(参加人数：85名)

プレゼンテーション方向上セミナー

日時: 2025年12月3日(水) 13:30~16:30 (講演)

方法: オンライン開催

対象: 大阪公立大学の教職員・研究員 (性別問わず)

講師: 市川 真樹 氏 (株式会社 Smart Press)

内容: 「情報を「見える化」する方法 (ワークを交えて解説)」

参加無料

申込締切: 11月26日(水) 17時

お申込みURL: <https://forms.office.com/r/3v3qUldGc2H>

MAIL: gr-hobby-support@oma.ac.jp
TEL: 072-247-6689
内線: 中教直線5971 / 中教 3000-17-000

■マネジメントセミナー

教員と職員との壁を越えて巻き込み力や多様なメンバーがいる研究チーム・研究室のグループリーダーとしてのマネジメント力アップのセミナーを実施しました。(参加人数：20名)

マネジメントセミナー

日時: 2026年2月20日(金) 13:30~16:30
講演終了後 30分程度質疑応答(自由参加)

方法: Zoomによるオンライン開催

対象: 大阪公立大学の教職員・研究員 (性別問わず)

形式: 講義・グループでのワーク形式

講師: 新名 史典 氏 (株式会社 Smart Press)

内容: 「多職種を巻き込み仕事を効率化する!」

参加無料

申込締切: 2月17日(水) 17時

お申込みURL: <https://forms.office.com/r/203363Dn2h>

MAIL: gr-hobby-support@oma.ac.jp
TEL: 072-247-6689
内線: 中教直線5971 / 中教 3000-17-000

■個別申請書レビュー（ロバスト・ジャパン株式会社）

外部資金獲得セミナーを受講した女性研究者を対象に先着10名限定でロバスト・ジャパン株式会社による研究計画調書のレビューを実施しました。

支援期間	実施人数
2025年8月4日(月)～9月4日(木)	10名

■科研費申請支援（URA）

女性研究者支援室専任URAによる科研費の申請支援を実施しました。面談にて研究構想を聞き、学術的な価値や独自性、創造性など研究の魅力を引き出し、審査員に刺さる研究計画調書への添削アドバイスを行いました。

対象

性別	条件
女性のみ	大阪公立大学にて研究者番号があり、令和8年度科研費に応募する者加えて、以下の支援を受けていない者 ・研究推進課が主催する（伴奏型）対面アドバイス支援、匿名アドバイス支援 ・女性研究者支援室が主催する外部資金獲得セミナーの個別支援 ※研究分担者であっても研究計画書の作成に関わっている申請も対象とする

参加者の声

- 視点の狭さや弱さを知ることができ、アピールする計画書はどのように書くのかと学ばせていただきました。
- 自分の研究の価値などを改めて考え、自分がやりたいことの方性をしっかりと再認識することが出来ました。

■【新】女性研究者支援室専任URAによるワークショップ（URA）

共同研究創出の一手手前の「伝える力×共感力で惹きつける力を養う」をテーマに女性研究者支援室専任URAによるワークショップを対面にて実施しました。

開催日	開催場所	参加人数
2026年3月11日(水)	UR 森之宮ビル	3名
2026年3月13日(金)		2名

女性研究者外国語論文校閲費助成事業

女性研究者の研究成果の発信支援を目的として、研究のスキルアップにつながる外国語論文校閲費を助成しました。

対象

性別	職位等	条件
女性のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●専任教員（任期付教員を含む） ●特任教員（病院講師含む） ●前期臨床研究医、後期臨床研究医 ※いずれも2025年4月以降、大阪公立大学に従事し、社会保険料負担がある者に限る <ul style="list-style-type: none"> ●研究員（博士号を持つもの） 	<ul style="list-style-type: none"> ●2025年4月1日～2026年2月28日までに外国語論文の校閲・校正を行い、納品・検収が完了するもの。 ●自身が主たる著者（筆頭または責任著者）として発表するものに限る。（原則として実施年度につき1人1件） ●助成対象となる執筆行為 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の学術誌、書籍等への外国語論文の投稿（アブストラクト含む） ・国際会議等のための外国語による発表用原稿の作成

助成金額

上限10万円(税込み)

利用人数

21名

2026年2月時点

Ⅲ 研究者育成

女性研究者表彰制度【岡村賞】

次世代の優秀な女性研究者を育成し、研究者におけるジェンダー平等に寄与することを目的として、創造的かつ意欲的に研究活動を行い、ジェンダー平等に貢献している大阪公立大学の女性研究者を表彰しました。

2025年度 大阪公立大学 女性研究者表彰制度【岡村賞】応募要項

名称	対象者 ※本学に所属する女性	受賞人数	副賞	備考
特別賞	専任教員	1名	賞状 賞金10万円	
奨励賞	研究員（博士号をもつ者）、特任教員（病院講師含む）、前期・後期臨床研究医	1名	賞状 賞金5万円	学振特別研究員 PD、RPD 含む。
大学院生奨励賞	大学院生	4名以内	賞状 賞金5万円	学振特別研究員 DC1、DC2 含む。

賞	所属	受賞者
特別賞	農学研究科 講師	中澤 昌美
奨励賞	医学研究科 特任助教	湊（猪川）聡美
大学院生奨励賞	理学研究科 博士後期課程3年	井上 喜来々
	理学研究科 博士後期課程3年	溝口 史華
	医学研究科 博士課程4年	畑中 由香里
	現代システム科学研究科 博士後期課程3年	神山 典子

※職位は採択当時



表彰式・記念講演会

開催日	2025年11月28日(金)
開催所場	杉本キャンパス 学術情報総合センター1階 文化交流室

表彰式・記念講演会の
ダイジェスト動画は
こちらよりご覧ください



理系女子大学院生チーム IRIS

IRIS（アイリス）は、次世代の女性研究者・技術者を育成する目的として結成された理系女子大学院生チームです。IRIS自身が互いに刺激し合い成長することを目標に、研究活動と両立を図りながら多様な活動を行っています。



活動の詳細

IV 環境整備

研究支援員制度

研究時間の確保が難しい妊娠・出産・育児または介護の時期にも、研究等の職務を継続し、研究力の向上を図るため、研究支援員の利用を通じて支援しています。

対象	性別	職位等	条件
	男女とも	●専任教員（任期付教員を含む）	下記の支援事由に該当する場合 ●妊娠・出産 ●育児（末子が小学校6年生以下*） ●介護
	女性のみ	●特任教員（病院講師含む） ●前期臨床研究医、後期臨床研究医 ※いずれも2026年4月以降、大阪公立大学に就任し、社会保険料負担がある者に限る	

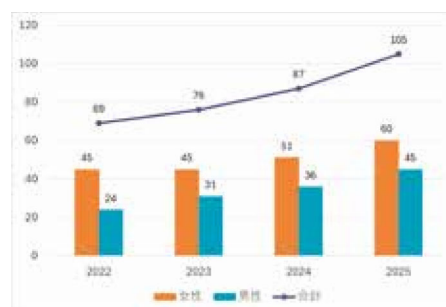
※末子が中学校1年生以上でも、下記いずれかに該当する場合は、支援対象とする

①身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている場合

②地方公共団体が実施する障がい児施策の対象になるなど、①と同等程度の障がいを有すると認められた場合

利用実績

年	女性	男性	合計
2022年度	45名	24名	69名
2023年度	45名	31名	76名
2024年度	51名	36名	87名
2025年度	60名	45名	105名



女性講演者登壇助成

大阪公立大学が開催するシンポジウム等の登壇者における女性比率を上げ、女性の活躍を「見える化・魅せる化」するために、女性登壇者分の謝金を補助しています。

対象

大阪公立大学の部局・部署または教員などが主催する、定員がおおむね100人以上（オンライン含む）のシンポジウム等で、女性が登壇するもの。

学内保育施設

- つばさ保育園（中百舌鳥キャンパス）
- 杉の子保育園（杉本キャンパス）
- カンナ保育園（附属病院）
- 病児保育室「たんぼぼ」（附属病院）



ベビーシッター割引券発行事業

公益社団法人全国保育サービス協会が実施する「ベビーシッター派遣事業」を利用し、在宅保育サービス（ベビーシッター等）を利用する際の料金の一部を助成しています。

学内との連携事業

「会議は17時まで」キャンペーン

会議時間の適正化と時間外勤務の縮減を図る目的として、「会議は17時まで」のポスターを学内に提示しています。また、オンライン会議での背景画像も提供しています。



研究者交流会

	開催日	開催場所	参加人数	共催
第3回	2025年 9月29日(月)	中百舌鳥キャンパス 学術交流会館	47名	大阪公立大学 URAセンター 大阪公立大学 女性研究者支援室
第4回	2026年 3月23日(月)	杉本キャンパス 学術情報 総合センター1階 文化交流室	—	

学外との連携事業

日経 STEAM2025 シンポジウム

日本経済新聞社が主催する日経 STEAM2025 シンポジウムにて、「女性研究者座談会」「ブース相談会」などのプログラムに、大阪公立大学の学生・大学院生・教員が参加しました。

日 時	会 場	主 催
2025年8月8日(金) 9:30～17:00	インテックス大阪	日本経済新聞社 大阪本社

キャリアデザインセミナー

大阪府と共催し、大阪府男女いきいき事業者表彰大賞を受賞した企業から講師を招き、講師のこれまでのキャリアや体験談、子育てと仕事をどう両立するかについてなど様々なお話を伺いました。

開催日	開催場所	参加人数
2025年6月17日(火)	中百舌鳥キャンパス	52名

広報活動

女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」するため、女性研究者支援室ホームページにて女性研究者についての記事を多数掲載しています。「女性研究者活躍紹介」では、女性研究者の研究成果や受賞報告について、「ロールモデルインタビュー」では、大阪公立大学女性研究者の体験談や後輩研究者へのメッセージを掲載しています。



各事業詳細



ロールモデル
インタビュー

ご寄附のご案内

大阪公立大学女性研究者支援室では、ご寄附による支援をお願いしています。

●寄附金の活用方法について

1. 性別問わず、すべての研究者の研究と生活（育児・介護）の両立を支えるために（研究支援員制度）
2. 女性研究者表彰制度【岡村賞】の継続のために
3. 女性研究者育成のために（理系女子大学院生チーム IRIS の活動支援）



ご寄附ご案内

年間事業実績一覧

2025 年	4月1日	女性研究者外国語論文校閲費助成事業
	5月22日	第1回女性研究者支援室運営委員会
	6月17日	キャリアデザインセミナー
	7月3日	外部評価委員会
	7月4日	外部資金獲得セミナー（スキルアップ支援セミナー①）
	7月31日	ダイバーシティ研究環境整備費制度採択部局決定
		RESPECT共同研究助成採択者決定
	8月4日～9月4日	研究計画調書作成個別支援（業務委託・女性研究者支援室専任 URA）
	8月8日	日経 STEAM2025 シンポジウム参加
	9月1日～10月27日	新任女性教員個別ヒアリング
	9月29日	第3回研究者交流会
	10月1日	女性講演者登壇助成開始
	10月15日	ステアリング委員会①
	10月26日	JST 第7回「輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）」を受賞
	10月29日	女性研究者表彰制度【岡村賞】受賞者決定
	11月12日	アンコンシャス・バイアス研修（人事戦略部と共催）
	11月14日	英語スキルアップセミナー（スキルアップ支援セミナー②）
	11月27日	第2回女性研究者支援室運営委員会
	11月28日	女性研究者表彰制度【岡村賞】表彰式・記念講演会
	12月3日	プレゼンテーション力向上セミナー（スキルアップ支援セミナー③）
12月2日～12月15日	2026年度研究支援員制度利用者募集	
2026 年	1月26日	「ジュン アシダ賞」受賞記念シンポジウム
	2月1日	プロモーションメンタープログラム依頼
	2月4日	ステアリング委員会②
	2月20日	マネジメントセミナー（スキルアップ支援セミナー④）
	3月9日	第3回女性研究者支援室運営委員会
	3月11日	女性研究者支援室専任 URA によるワークショップ
	3月23日	RESPECT共同研究助成 成果報告会・第4回研究者交流会(URA センターと共催)
	3月31日	事業報告書発行
		ロールモデルインタビュー掲載

委員一覧

ステアリング委員

氏名	職名(担当部局)
櫻木 弘之	学長
高橋 哲也	副学長(教育戦略、情報戦略、計画・評価)
徳永 文稔	副学長(研究戦略、国際戦略)、研究推進機構長
重松 孝昌	副学長(産学官民共創戦略、都市シンクタンク戦略、産学連携、万博)、図書館機構長
松原 浩	副学長(教育)、国際基幹教育機構長
松本 淳	副学長(学生)
松井 利之	副学長 (イノベーションアカデミー、高度人材育成)
寺北 明久	副学長(学術研究、研究公正)
高橋 雅英	副学長(国際交流)
森澤 和子	副学長(ダイバーシティ、広報)
樋口 由美	副学長(社会共創)
秋田 成司	特命副学長(入試、高専連携)(※高専校長)
藤村 紀文	特命副学長 (イノベーションアカデミー、産学連携)
竹中 規訓	現代システム科学研究科長

氏名	職名(担当部局)
菅野 正嗣	現代システム科学域長
佐賀 朝	文学研究科長・文学部長
手塚 洋輔	法学研究科長・法学部長
中島 義裕	経済学研究科長・経済学部長
田口 直樹	経営学研究科長・商学部長
高野 恵亮	都市経営研究科長
宮本 貴朗	情報学研究科長
小嵯 正敏	理学研究科長・理学部長
綿野 哲	工学研究科長・工学部長
堀野 治彦	農学研究科長・農学部長
山岸 則夫	獣医学研究科長・獣医学部長
鶴田 大輔	医学研究科長・医学部長
横井賀津志	リハビリテーション学研究科長
田中 京子	看護学研究科長・看護学部長
所 道彦	生活科学研究科長・生活科学部長

女性研究者支援室 運営委員

氏名	部局・職名
森澤 和子	副学長(ダイバーシティ・広報) 女性研究者支援室長、工学研究科 教授
鍋島 美奈子	女性研究者支援室センター長、 工学研究科 教授
生田 英輔	現代システム科学研究科 教授
平山 亮	文学研究科 准教授
酒井 貴子	法学研究科 教授
岩熊 典乃	経済学研究科 准教授
磯田 友里子	経営学研究科 准教授
竹田 恵美	理学研究科 准教授
三枝 栄子	理学研究科 講師
床波 志保	工学研究科 教授
北川 大地	工学研究科 講師
上田 萌子	農学研究科 准教授

氏名	部局・職名
松原 三佐子	獣医学研究科 准教授
角南 貴司子	医学研究科 教授
中岡 和代	リハビリテーション学研究科 講師
白井 みどり	看護学研究科 教授
小伊藤 亜希子	生活科学研究科 教授
阿久澤 麻理子	都市経営研究科 教授
村上 晴美	情報学研究科 教授
西垣 順子	国際基幹教育機構 教授
桑原 希世子	国際基幹教育機構 准教授
藤井 律子	研究推進機構 准教授
吉田 晴香	人事戦略課 課長

事務局

【研究推進課】井野 真由美(課長)・五十嵐 智子(課長代理)・津田 典子(係長)

【女性研究者支援室】巽 真理子(副センター長、総括コーディネーター)・三木 麻衣(コーディネーター)・篠谷 賢一(専任URA)・永田 みちる・八木 優子・片岡 由依・鳥居 正子・元家 瑞月・佐々木 保野花・古根川 千香子



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2026年3月発行

大阪公立大学 女性研究者支援室

〒599-8531 堺市中区学園町1-1 C4棟
TEL: 072-254-9856